

2026 年 10 月 吉日

株式会社シード・プランニング

自治体の AI に関する調達実態を調査、案件数最多は「公共インフラ AI」、
生成 AI にとどまらず、地域公共交通・教育など幅広い分野で AI 関連調達
～839 件の調達データから読み解く市場構造～

自治体の AI に関する調達実態を調査 ～ 839 件の調達データから読み解く市場構造～



株式会社シード・プランニング（本社：東京都文京区、代表取締役社長：梅田 佳夫）は、全国の自治体等による AI 関連の調達データ 839 件を収集・分析し、自治体の AI に関する調達実態を明らかにしました。

分析の結果、市場セグメント別では「公共インフラ AI」が 103 件で最多となり、「地域公共交通 AI」98 件、「教育 AI」92 件、「DX 人材育成・研修」86 件が続きました。また、調達方式では「企画競争」が 366 件（43.6%）で最も多く、公示日を確認できた 827 件では 1～6 月に 64.8%と調達が集中していました。

●調査の詳細はこちら

<https://www.seedplanning.co.jp/news/6786/>

◆調査の背景と目的

自治体の AI 導入は、生成 AI・LLM やチャットボットにとどまらず、公共インフラ、地域交通、農業、介護・福祉・医療などへ広がっています。職員不足や行政 DX の進展を背景に、業務効率化、住民サービスの高度化、インフラ維持管理など、幅広い分野で AI 活用が進んでいます。

一方、自治体 AI 市場は用途ごとに価格帯、競争環境、発注主体、必要な実績・体制が異なります。また、入札公告、仕様書、評価基準、落札結果などの情報は各所に分散しており、市場全体を横断的に把握することは容易ではありません。

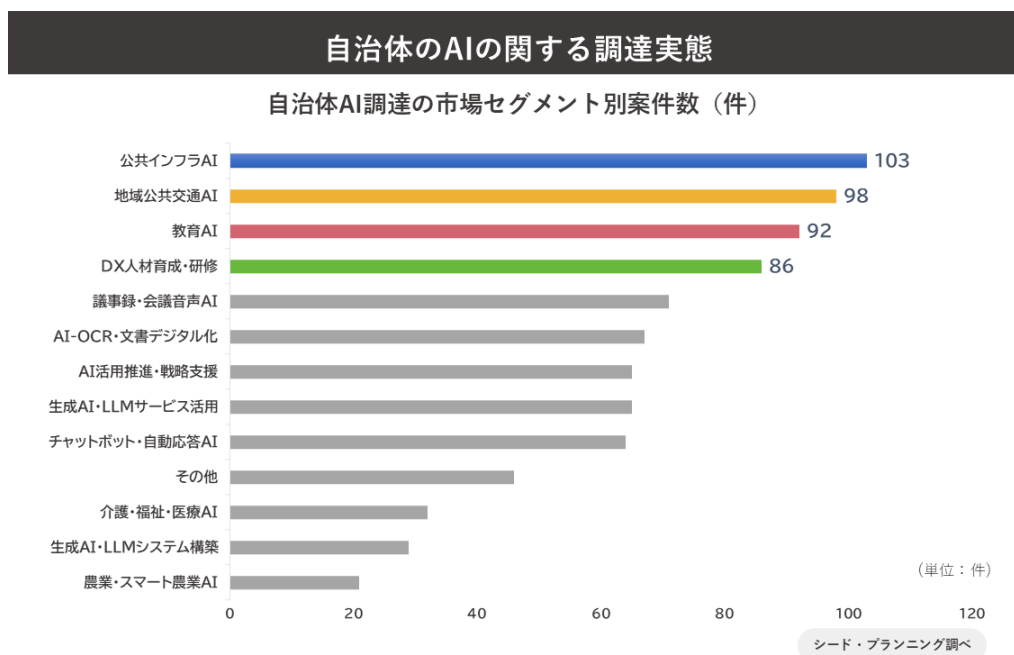
そこでシード・プランニングでは、全国の自治体等による AI 関連調達 839 件を対象に、公示書、仕様書、評価基準、質問回答、落札結果等 6,978 件、約 1.03 億字の情報を収集・構造化しました。自治体 AI 市場を 13 大分類・62 中分類に整理し、案件数、調達金額、地域、調達方式、受注企業、調達条件等を横断的に分析しています。

◆調査トピックス

- 839 件の調達データを独自に構造化した客観的なデータベースに基づく分析
- 市場セグメント別では「公共インフラ AI」が 103 件で最多
- 調達方式は「企画競争」が 366 件（43.6%）で最多
- 公示日を確認できた 827 件のうち、1～6 月に 64.8%が集中

◆自治体の AI に関する調達について

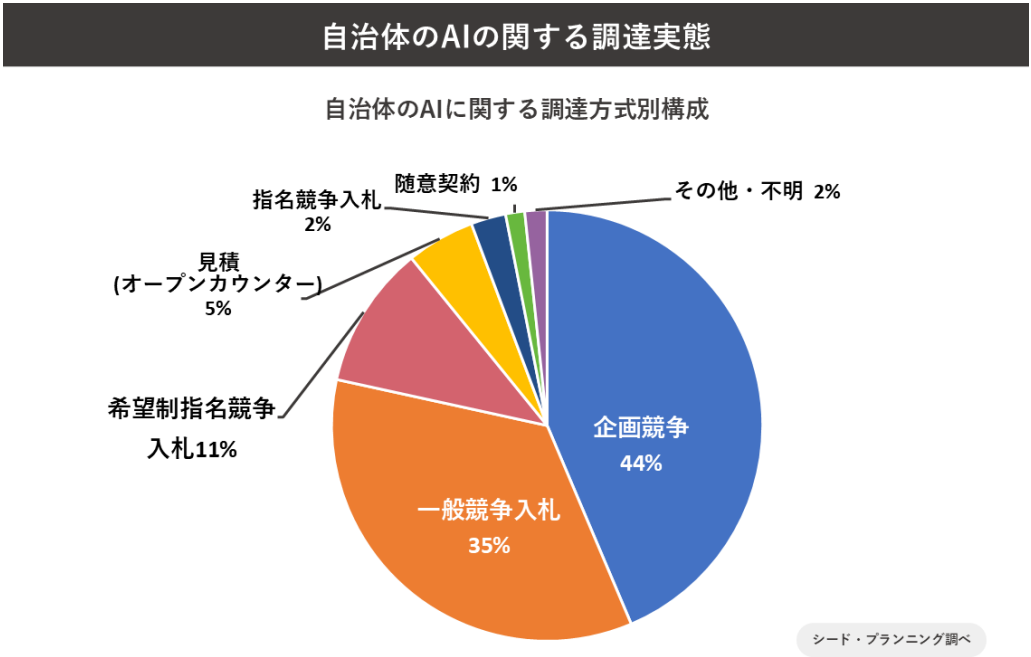
【自治体の AI に関する調達における市場セグメント別案件数】



全国の自治体等による AI 関連調達 839 件を 13 の市場セグメントに分類したところ、「公共インフラ AI」が 103 件で最多となりました。「地域公共交通 AI」98 件、「教育 AI」92 件、「DX 人材育成・研修」86 件が続きます。

本調査における「公共インフラ AI」には、道路・橋梁・上下水道・公共施設等のインフラ維持管理に AI を活用する調達が含まれます。生成 AI・LLM 関連だけでなく、社会インフラや住民サービスに関わる幅広い分野で AI 関連調達が行われていることが分かります。

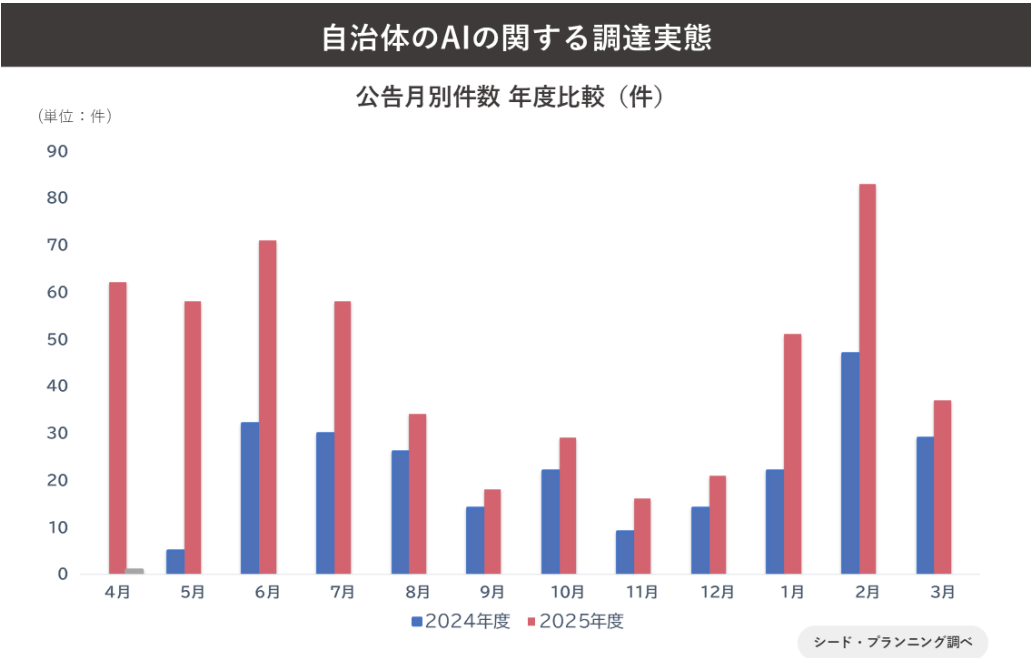
【自治体の AI に関する調達方式別構成】



調達方式別では、「企画競争」が 366 件（43.6％）で最多となり、「一般競争入札」が 292 件（34.8％）で続きました。希望制指名競争入札は 90 件（10.7％）でした。

市場セグメント別にみると、DX 人材育成・研修や地域公共交通 AI では企画競争の比率が高い一方、AI-OCR や公共インフラ AI では一般競争入札の比率が高く、分野によって調達方式の構成が異なります。自治体 AI 市場への参入を検討する際には、対象分野の調達特性を踏まえた営業・提案アプローチが重要になります。

【自治体の公告月別件数】



公示日情報が確認できた 827 件では、2 月の公示が 130 件で最多でした。レポートでは、Q4（1～3 月）が 32.5%、Q1（4～6 月）が 32.3%で、合計 64.8%が 1～6 月に集中すると分析しています。

自治体向け AI ビジネスでは、案件の公示時期を把握し、そこから逆算して情報収集や提案準備を進めることが、営業活動を行う上で重要なポイントとなります。

◆調査概要

調査対象：

全国の自治体等による AI 関連調達案件

調査方法：

公開情報・各種文献・企業公表資料等の収集・分析、自治体向けアンケート

調査時期：

2026 年 6 月～2026 年 8 月

分析対象：

AI 関連調達 839 件

有効回答：

アンケート有効回答数 184 件

主な調査項目：

市場魅力度・新規参入可能性評価、普及状況、導入動向、受注獲得に向けた営業戦略

調査主体：

株式会社シード・プランニング

本件に関するお問い合わせ

本調査の詳細はこちら：

<https://www.seedplanning.co.jp/news/6786/>

資料についてのお問い合わせ：

広報宣伝部

E-mail : koho@seedplanning.co.jp